

## 皆様のご支援を必要としています

変化する社会課題の解決に向けた取り組みの多くは、制度の狭間であったり、行政の支援がまだない分野であったりします。

行政の支援が届くのを待つのではなく、自分達にできることを、力を合わせて取り組んでいくために、皆さんに応援を必要としています。

### ■物品を提供しての協力

食料品や日用品、学用品の寄付を受け付けています。ご支援いただける食料品などは、ルルス防府2階(防府市市民活動支援センター1階)にお届けください。

また、「スマートサプライ」という、インターネット上でお買い物した商品を寄付するという方法でも受け付けています。

Amazon 欲しいものリスト  
スマートサプライはこちらから  
に登録されている物品を選んで購入していただくと、それが寄付になります。



### ■ボランティアとしての協力

フードポストの回収や受け入れた食品の整理などの作業、広報などに協力して下さる方を募集しています。

### ■資金での協力

自らの力で持続的に課題解決に取り組んでいくためには、活動の原資が必要です。

そのために資金という形で、私たちの活動を支えていただけませんか。

#### 【口座振込】

ゆうちょ銀行一三九(イチサンキュウ)店  
当座 0111204  
トクヒ)シミンカツドウサポートネット

もみじ銀行 防府支店  
普通 1542374  
トクヒ)シミンカツドウサポートネット

#### 【クレジットカード決済】

クレジットカード決済に関しては、下記のURL または、右記のQRコードからお手続きいただけます。



## 特定非営利活動法人市民活動さぼーとねっとは

山口県防府市を拠点に、社会課題の解決に向けた取り組みとネットワークづくりを通して、より良い社会づくりを目指して活動しています。

### ■ 社会の困りごとの解決に取り組む団体を支える事務支援とネットワークづくり

- ・防府市地域協働支援センター  
(市民活動支援センター含む) 指定管理
- ・NPO 事務支援事業

### ■ 地域の中でのつながりを支える子育て家庭の支援

- ・防府市ファミリーサポートセンター事業
- ・防府市内留守家庭児童学級事業(10学級)
- ・防府市子ども食堂ネットワーク協議会 会計担当
- ・防府コミュニティフリッジ運営

### ■ 「もったいない」を「ありがとう」に変えるフードバンク事業

- ・フードバンク山口 ほうふステーション運営



特定非営利活動法人  
市民活動さぼーとねっと

〒747-0035 防府市栄町 1-1-17

T E L 0835-24-7744

E-Mail hofu.saport@gmail.com

U R L https://hofu-saponet.sakura.ne.jp/

発行 令和4年7月



自分のまちの困りごとを自分たちで解決する そんな力が発揮されるほうふを目指して



NPO 法人市民活動さぼーとねっと 2022.7

# NEWS LETTER



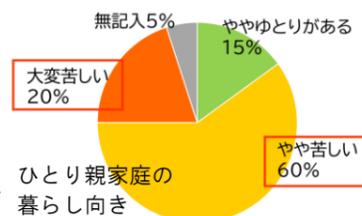
## ひとり親家庭を支える食支援のしくみ「コミュニティフリッジ」

防府市内のひとり親家庭は1214世帯。子どもがいる世帯全体の11%となっています。(平成27年国勢調査)

多くのひとり親家庭の生活は、経済的な不安と隣合わせと言われています。

防府市の実状を知るために、当法人では、令和2年にひとり親家庭40世帯を対象に、アンケートを実施しました。

コロナ禍以前、暮らし向きを聞いたところ「大変苦しい」と回答した家庭は80%、コロナ禍以降は88%という結果でした。



同じアンケートで聞いた、利用したい支援の設問では、食の支援に関する回答が最も多いという結果でした。

それを受けて当法人では、防府市内のひとり親家庭を対象とした食支援のしくみである「防府コミュニティフリッジ」を令和3年11月に開設しました。

フリッジの名前の通り、大型の冷蔵庫・冷凍庫を設置し、これまでフードバンクでは対応が難しかった生鮮食料品、日用品なども取り扱っています。

食料品などを持ち帰ることができる利用登録者は、経済的な困難を抱える防府市内のひとり親家庭が対象。令和3年11月の開設から令和4年6月までの期間で、44家庭が登録しています。

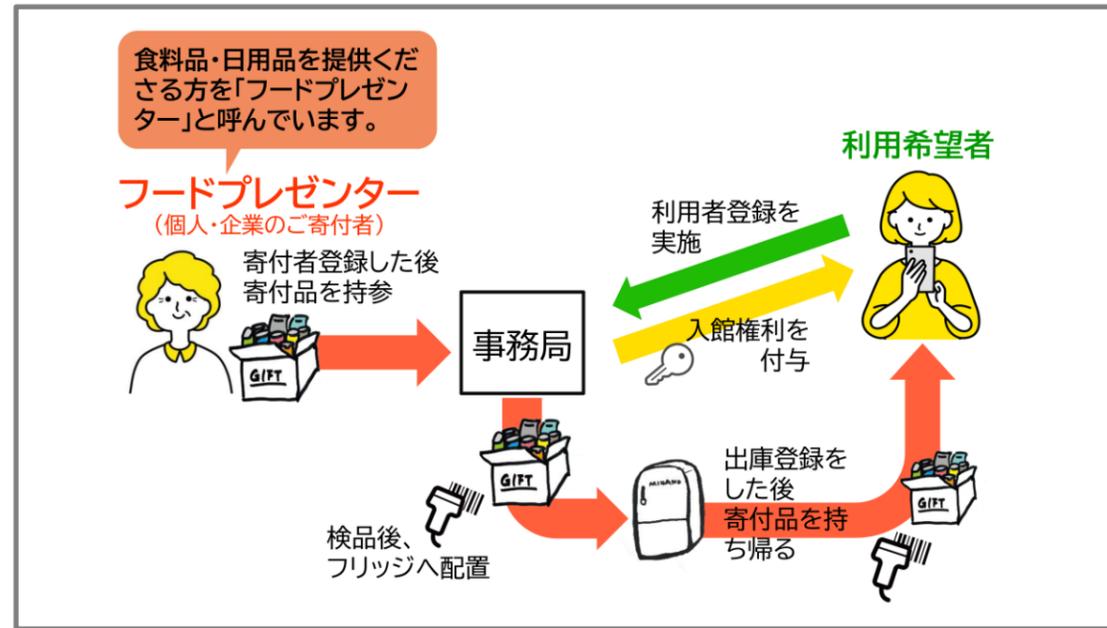


## 困ったときは「お互いさまの気持ち」で支えられる 「コミュニティフリッジ」のしくみを大公開！

コミュニティフリッジでは、食料品・日用品を提供くださる方を「フードプレゼンター」と呼んでいます。個人、グループなどで寄付者としてご登録いただき、現在 100 名（団体含む）の方に支えられています。

ご支援いただける食料品などは、ルルサス防府 2 階（防府市市民活動支援センター気付）にお届けください。

届けられた寄付品は、事務局で検品後、コミュニティフリッジ内に陳列します。



コミュニティフリッジの中は、利用登録されている方のみ入ることができます。

対象は、防府市内の経済的な困難を抱えるひとり親家庭としており、現在 44 家庭が利用登録しています。

ドアの開錠は、スマートフォンのアプリを使って行うことができ、人目を気にせず、自分の都合のよい時に受け取りに来ることができるしくみになっています。

大きな冷蔵庫・冷凍庫の中には生鮮食料品や冷凍品が並びます。常温保存の食料品や日用品は棚に並んでおり、自分の必要なものを持ち帰ることができます。



▲フリッジの名前の通り大きな冷蔵庫と冷凍庫が並びます。

季節の野菜やトイレトペーパーなど、日々の食卓や生活で役立つものもあれば、子どもたちのことを思って、文房具やお菓子、パンを届けくださる方もあります。

個人や団体、お寺や農家などいろいろな形で支えてくださる方が増え、現在約 100 名（団体含む）の方に支えられて運営しています。

「自分も困った時があったから、できることをしたい」「子どもたちにおなか一杯になってほしい」そんな温かい気持ちが日々届けられています。



▲常温の食品や日用品も並んでいます。

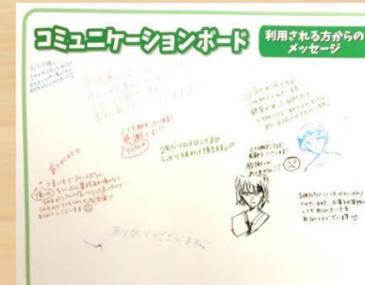
## コミュニティフリッジ利用者の声

育ち盛りの男の子 3 人なので、ほんとうに助かっています。子どもの笑顔が私の幸せです。そんな姿をたくさんみることができています！

新鮮なお野菜や調味料など使わせて頂き本当に助かっています。お野菜は無駄にしないよう皮まで全て調理しています。

日用品やお菓子、野菜等をいつもありがたく頂いています！子ども達も「今日は何があったの？」と私が持って帰ってくる袋の中身を楽しみにしているようになりました！

いつもありがとうございます。皆様の提供して下さる食材のおかげで、子どもたちの食事がとても充実しています。



たくさんの野菜  
ありがとう！  
いつもおいしくいただいています。

▲コミュニティフリッジ内にあるコミュニケーションボードにも、たくさんのありがとうメッセージが書かれています。

## フードバンク山口ほうふステーション 2周年を迎えました！

令和 2 年 6 月に開設した「フードバンク山口ほうふステーション」もおかげ様で 2 周年を迎えることができました。

市内 10 か所に設置されたフードポストから日々たくさんの寄付された食品が届けられています。

週に 1 度の入庫作業やポストの回収は、ボランティアさんの協力なくして運営できません。10 代から 60 代まで幅広い方がご協力くださっています。

令和 3 年度実績  
(令和 3 年 4 月～  
令和 4 年 3 月)

寄付された食品  
19,119 個  
3,352kg

福祉団体やこども食堂などに 339 回  
利用され、食品を  
必要とされている方に届けられました！



## 制服寄贈プロジェクト たくさんのご支援、ありがとうございます！

お子さんの思い出のつまった制服、「捨ててしまうのはもったいない」「せつかくなれば役立ててほしい」、そんな思いの寄付がたくさん寄せられています。

制服に限らず、習字道具や通学用のカバン、給食着なども受付されますかとお問い合わせをいただくことも多くあります。

見た目や状態が使用に耐えうるものであれば、受け付けさせていただいています。

ご寄付いただいた制服は、状態を確認後、経済的な困難を抱えるご家庭などで必要になった折に、無償で提供し、役立てています。

これからも随時、受け付けていきますので、皆さまのご協力をお願いします。

